

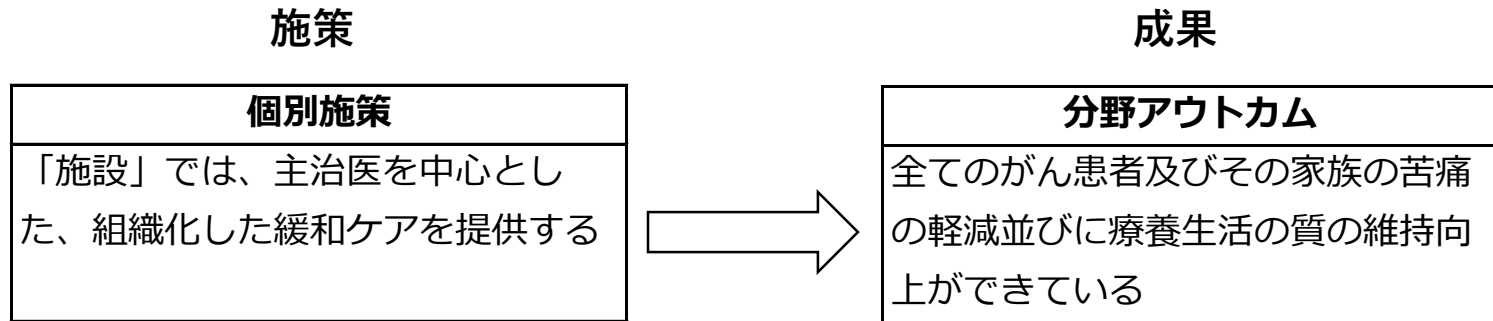
沖縄県がん診療連携協議会

# ロジックモデルとは

2023年5月12日

# ロジックモデルとは

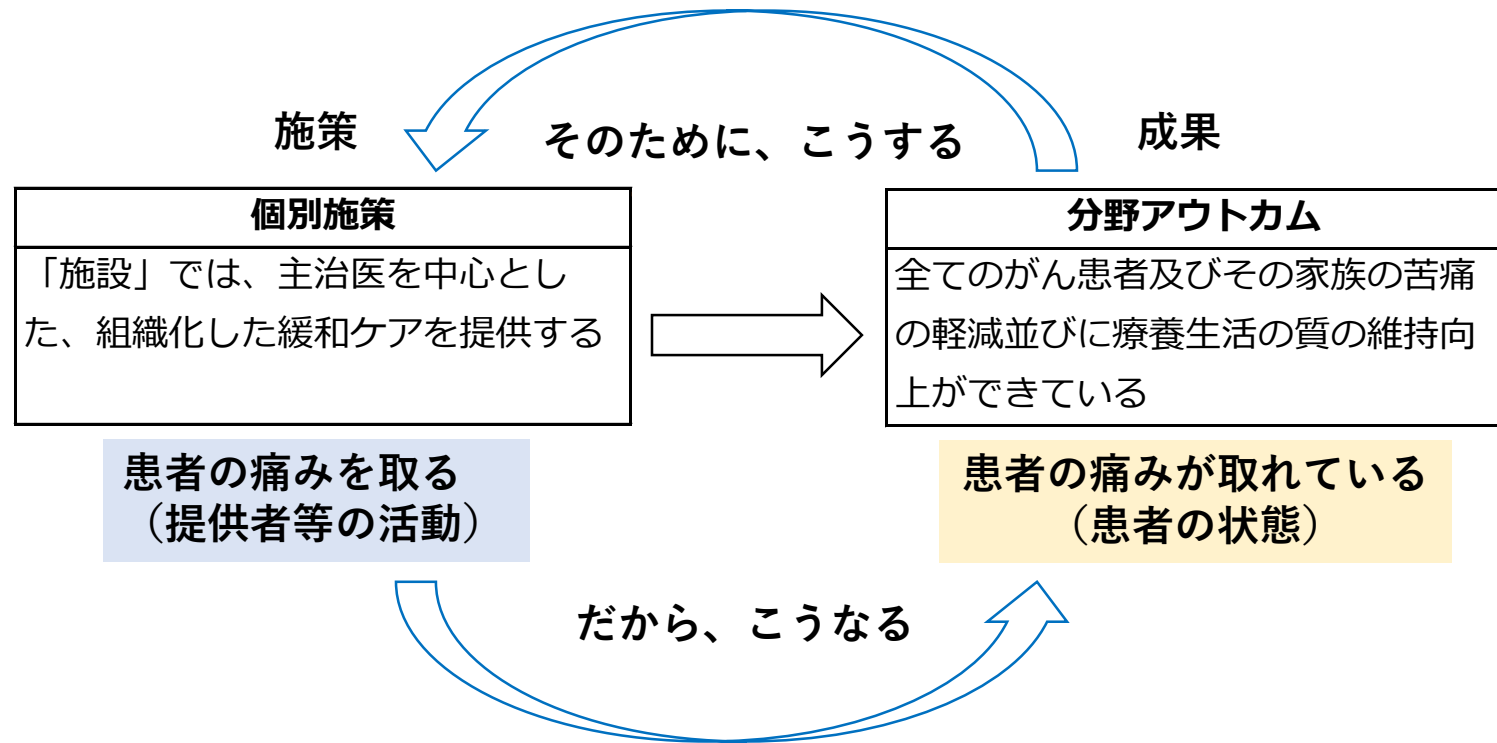
施策が目標とする成果を達成するに至るまでの論理的な関係を体系的に図式化したもの\*



注：「施設」＝「がん診療を行う医療施設」

\* 出典：疾病・事業及び在宅医療に係る医療体制について  
(令和5年3月31日厚生労働省医政局地域医療計画課長通知)

# ロジックモデルの意味



# ロジックモデルのかたち

ツリー状になることが多い

## ①緩和ケア

### 施策

	個別施策
1	「施設」では、主治医を中心とした、組織化した緩和ケアを提供する
2	すべての医療機関において、がん患者が、医療者に苦痛の表出ができるようにする
3	「施設」では、専門的な緩和ケアを提供できる人材とチームを整備する
4	県民の緩和ケアへの理解度を向上させる

### 中間成果

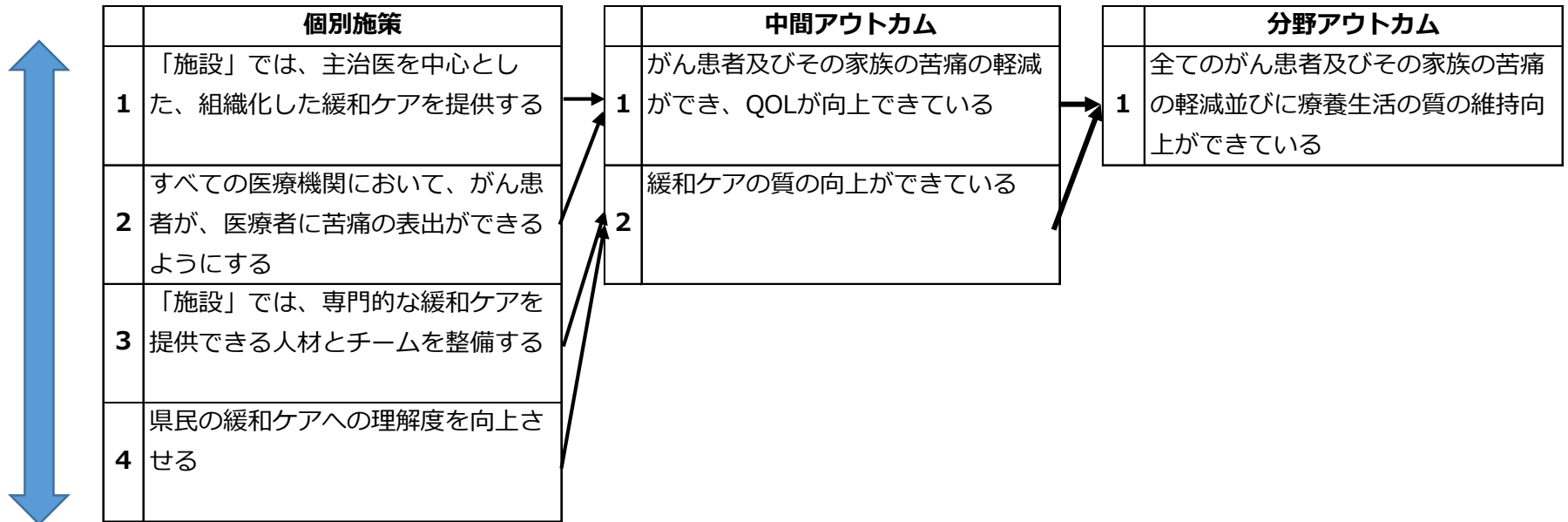
	中間アウトカム
1	がん患者及びその家族の苦痛の軽減ができ、QOLが向上できている
2	緩和ケアの質の向上ができている

### 成果

	分野アウトカム
1	全てのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上ができている

# 施策の吟味

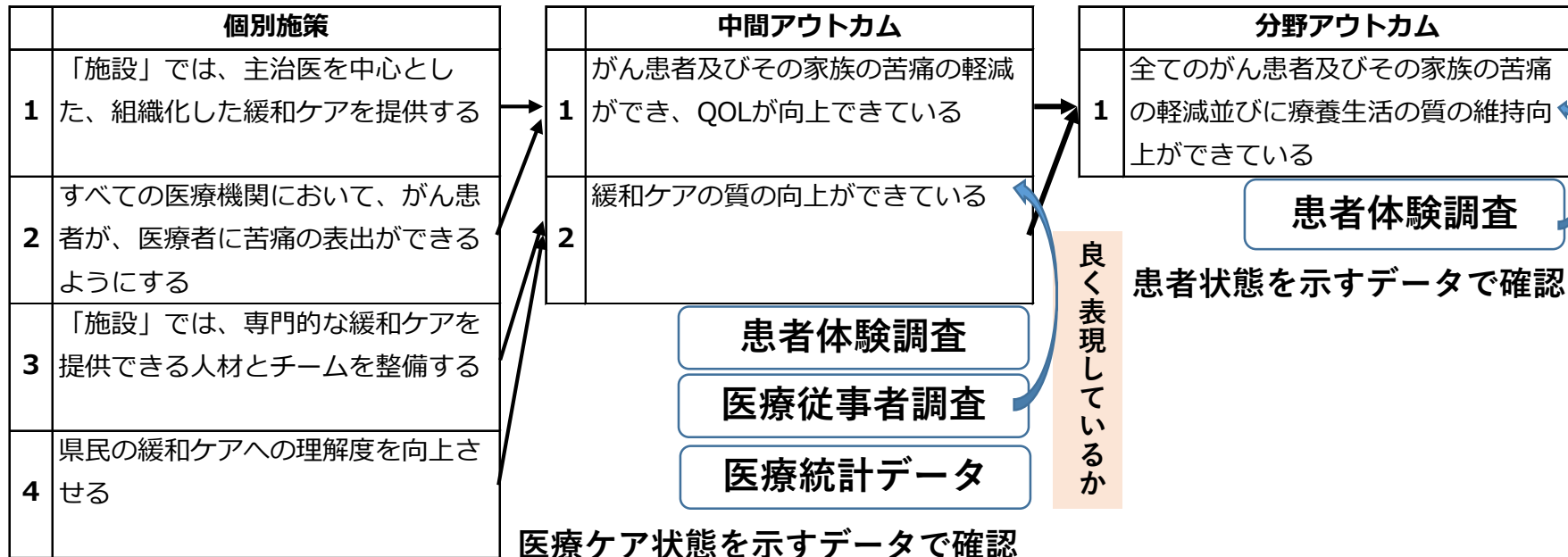
## ①緩和ケア



- ・ どの施策がもっともアウトカムを動かすのか？
- ・ 地域の課題（悪い点）を解消するのは？

# 指標を添える

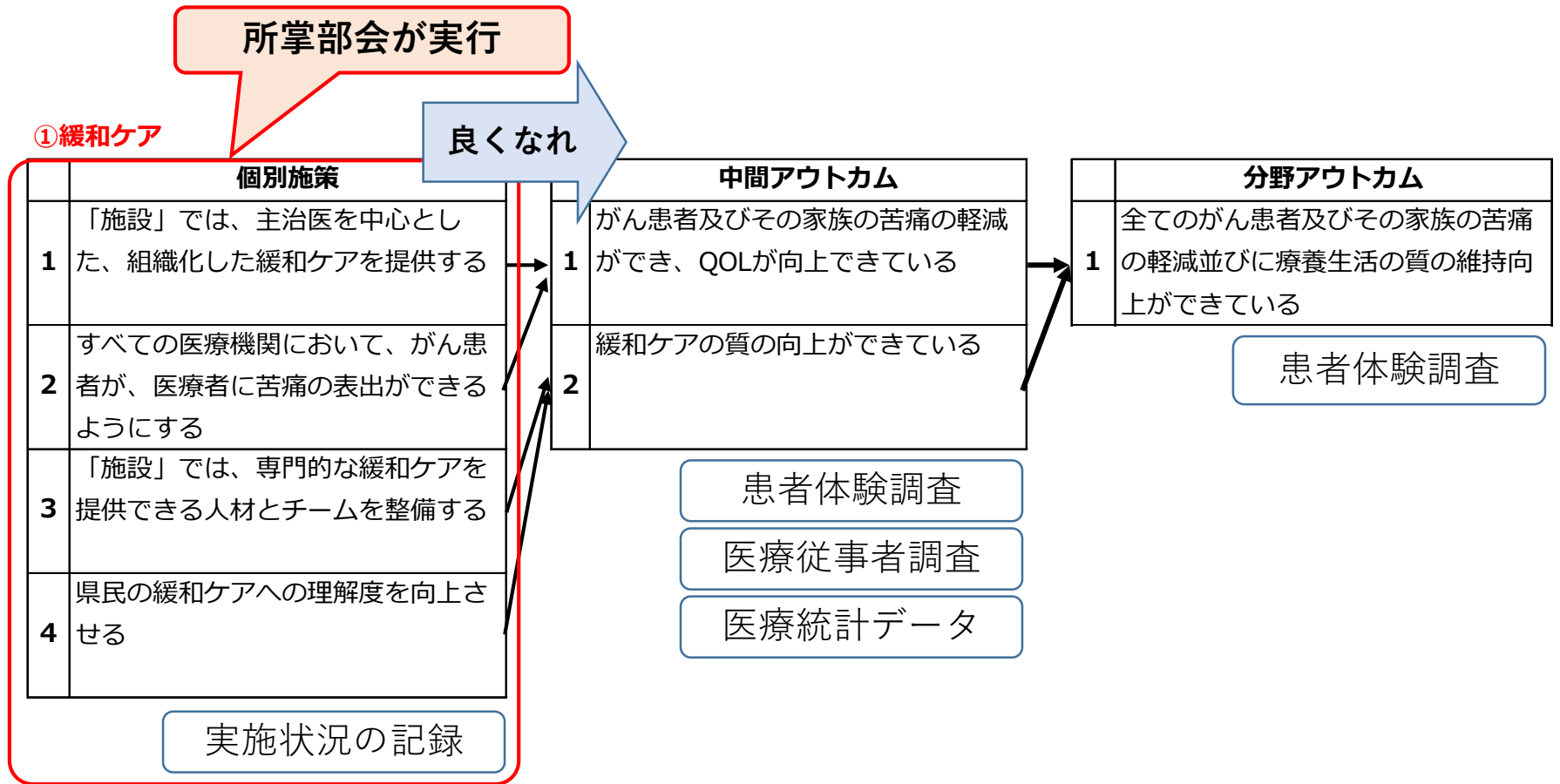
## ①緩和ケア



実施状況の記録

対策の実施状況を示すデータで確認

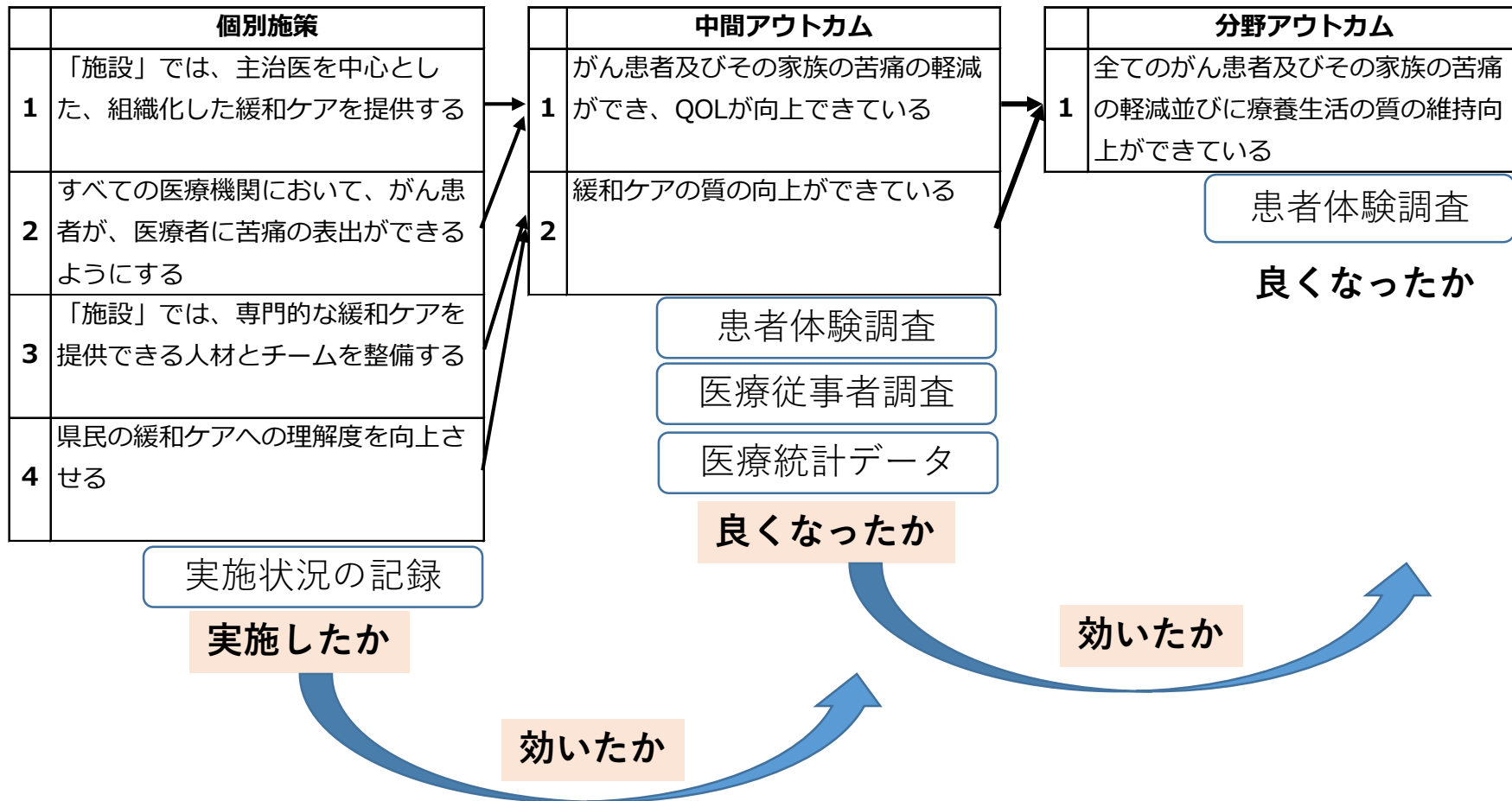
# アウトカムへの効果を目指し実行



所掌部会、ベンチマーク部会、本会議がモニター

# 施策の効果进行评估

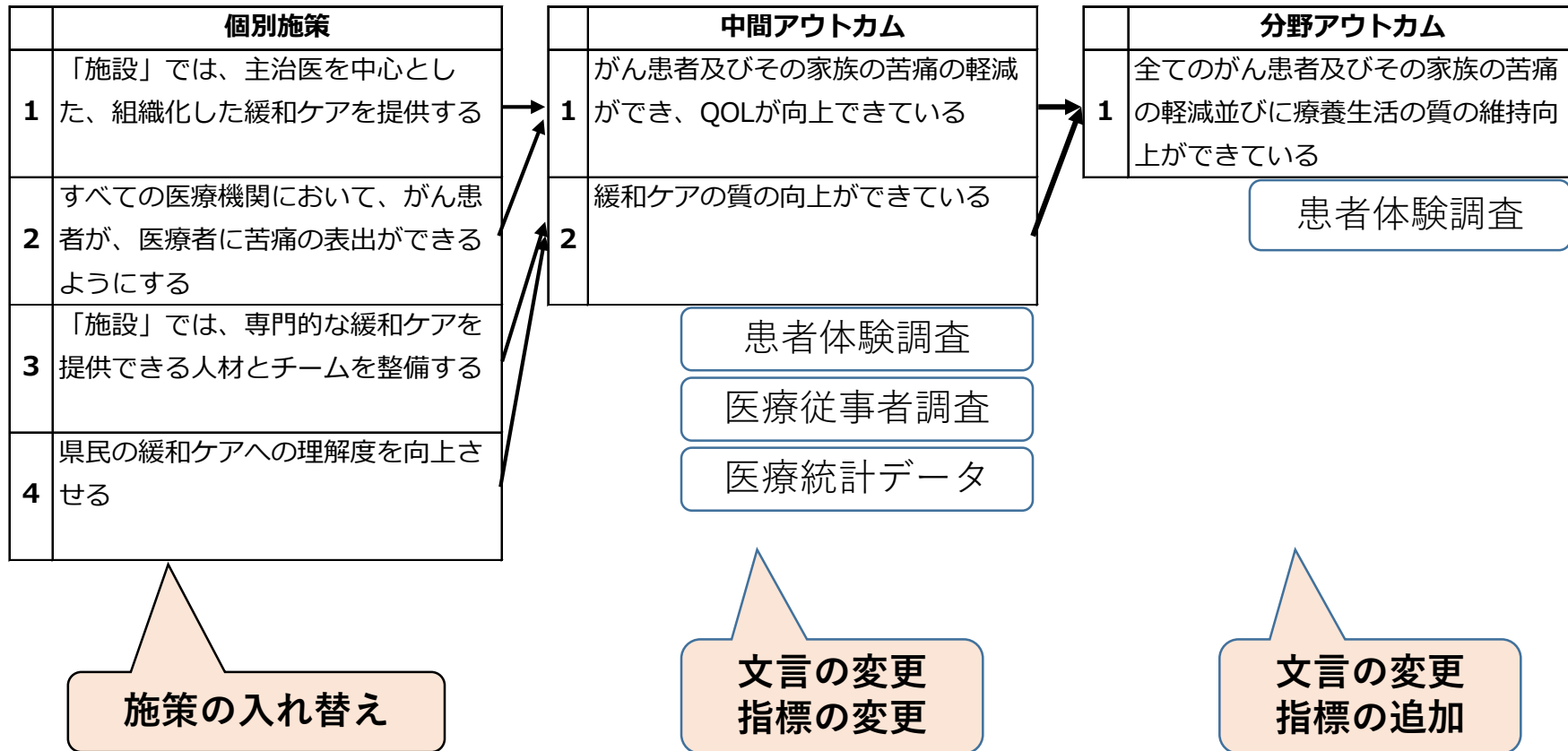
## ①緩和ケア





# あくなき改善（PDCAサイクル）

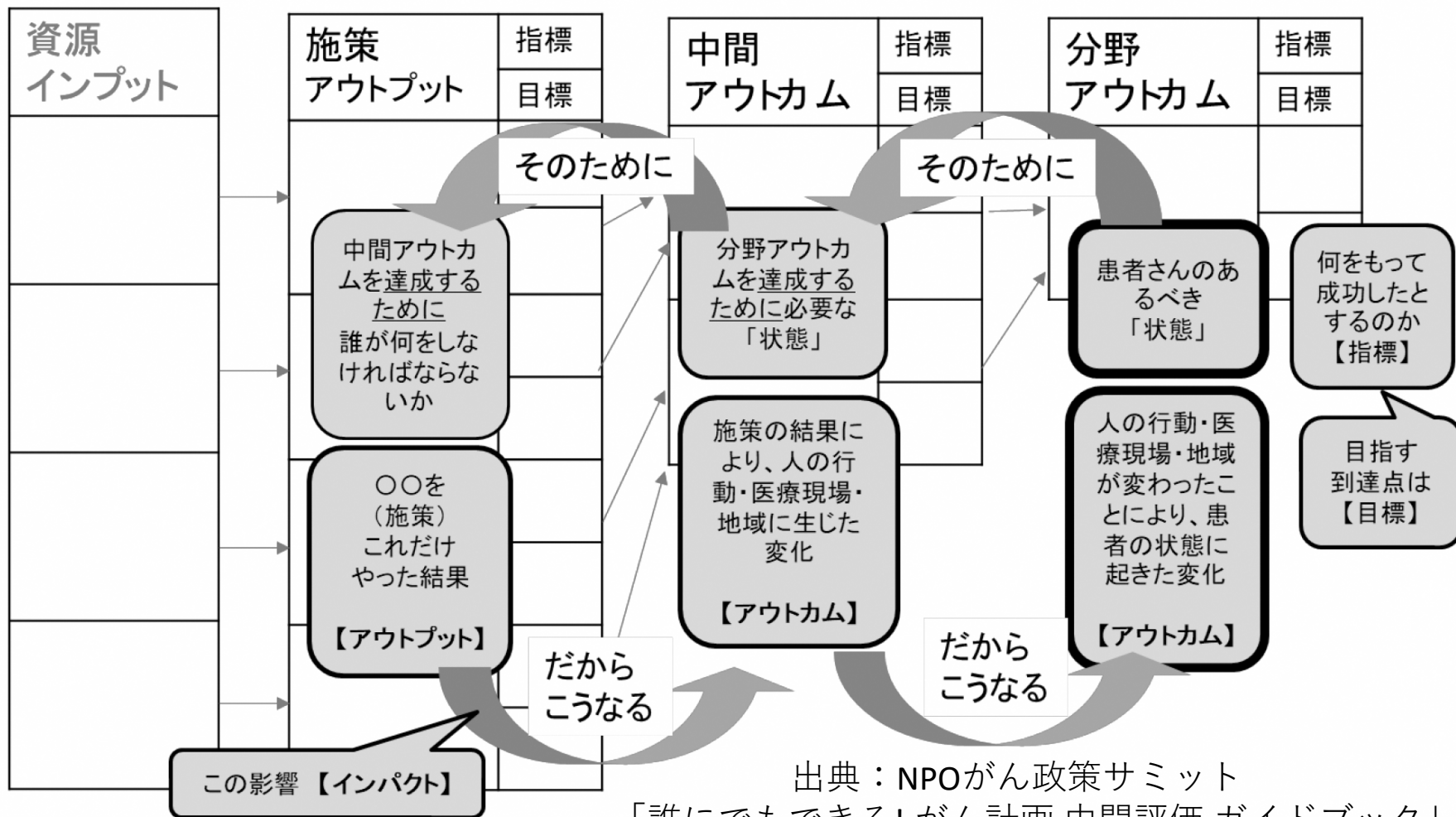
## ①緩和ケア



# ロジックモデルとは？

**ロジックモデルとは？** 患者のために、患者指標で、患者状態の向上を追いつける仕組み

原因と結果の因果関係の論理構造図。平たく言えば「何のために、何をする」「何をする事で、何をもちたらすか」を示している。



# ロジックモデルの効用

- 関係者間の共通認識ができる
- 関係者間の役割分担と相互理解が進む
- 活発な議論の土台になる
- 患者参画が進む
- 担当者が変わっても政策が一貫する
- 効果が客観的に評価できる
- 施策の実効性が高まる
- 課題解決力が高まる
- 予算の確保力が高まる
- 進捗管理が容易になる

ロジックモデルを採用した県の事例発表から抽出

# まとめ

---

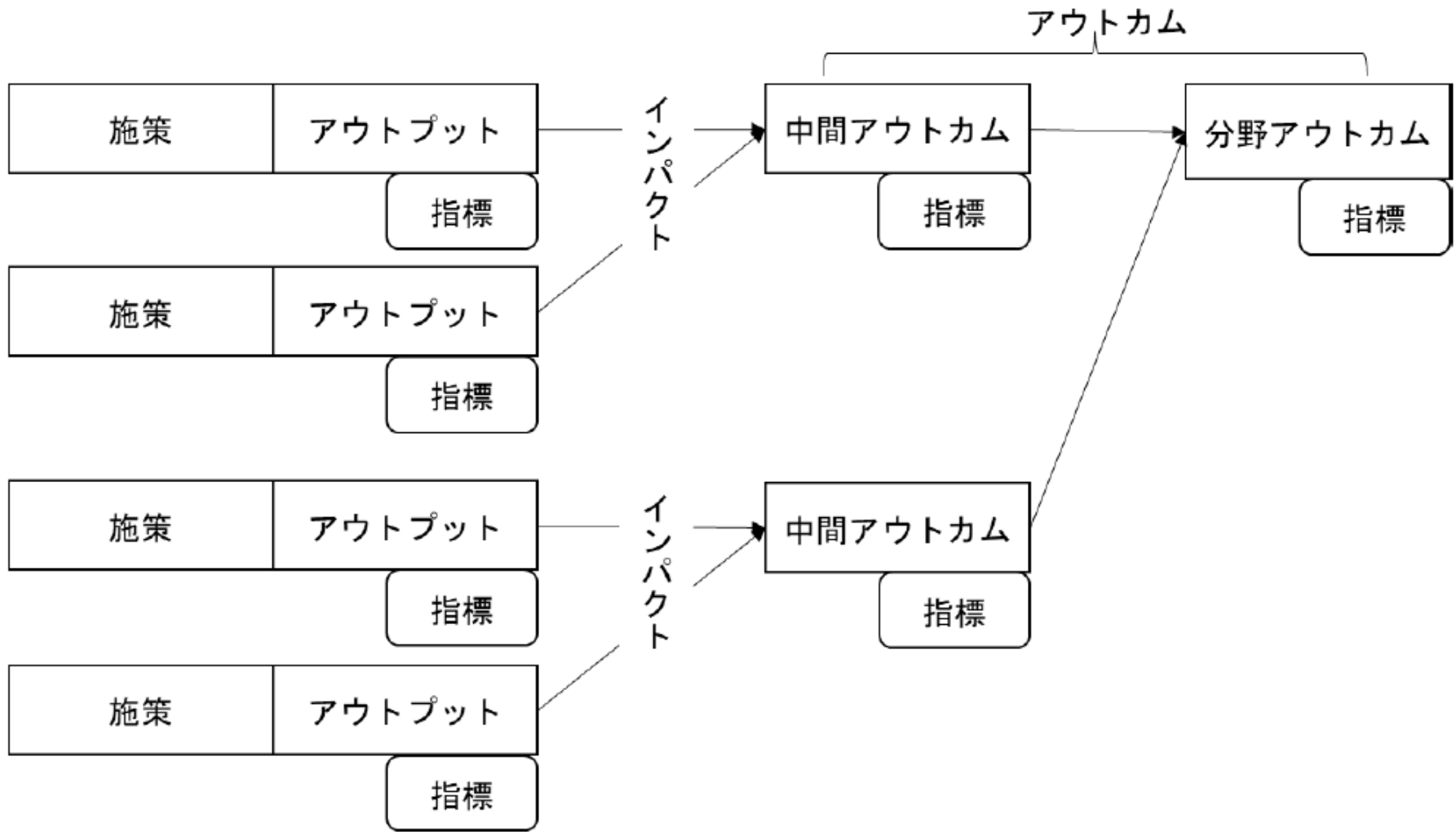
- ロジックモデルは、「施策が、患者状態に、効果を生むための、基盤ツール」
- ロジックモデルを活用し、患者状態が良くなることに焦点を当てて、活動を磨く
- ロジックモデルを作って終わりではなく、活動をより効果的にするためのスタート点

# 参考資料

国の通知における  
ロジックモデル関係記載文言

(別添)

ロジックモデルの構成要素の例示



(用語の定義)

•成果 (アウトカム)

施策や事業が対象にもたらした変化

•結果 (アウトプット)

施策や事業を実施したことにより生じる結果

•影響 (インパクト)

施策や事業のアウトプットによるアウトカムへの寄与の程度

•ロジックモデル

施策が目標とする成果を達成するに至るまでの論理的な関係を体系的に図式化したもの (別添)

## 2 指標

医療体制の構築に当たっては、現状の把握や課題の抽出の際に、多くの指標を活用することとなるが、**ロジックモデル等のツールも活用し、各指標の関連性を意識し、地域の現状をできる限り構造化しながら整理する必要がある。その際には、指標をアウトカム、プロセス、ストラクチャーに分類し、活用すること。**

(用語の定義)

### ・アウトカム指標

住民の健康状態や患者の状態を測る指標

### ・プロセス指標

実際にサービスを提供する主体の活動や、他機関との連携体制を測る指標

### ・ストラクチャー指標

医療サービスを提供する物的資源、人的資源及び組織体制、外部環境並びに対象となる母集団を測る指標



注：

- ・アウトカムは、「分野アウトカム」「中間アウトカム」など、段階に分けて記載する。例えば、政策分野の目標である長期成果（分野アウトカム）を設定した上で、それを達成するために必要となる中間成果（中間アウトカム）を設定し、当該中間成果（中間アウトカム）を達成するために必要な個別施策を設定する。
- ・この図において、分野アウトカムに関する指標は、アウトカム指標又はプロセス指標を、中間アウトカムに関する指標はプロセス指標又はストラクチャー指標を使用することが想定される。アウトプットに関する指標は、その施策の実施状況を示すものを使用する。

## 第1 医療計画作成の趣旨

（略）

具体的には、住民の健康状態や患者の状態といった成果（アウトカム）を踏まえた上で、医療提供体制に関する現状を把握し、現行の医療計画に対する評価を行い、目指すべき方向（5疾病・5事業及び在宅医療のそれぞれの目指すべき方向をいう。以下同じ。）の各事項を踏まえて、課題を抽出し、課題の解決に向けた施策の明示及び数値目標の設定、それらの進捗状況の評価等を実施する。施策及び事業評価の際には、**施策及び事業の結果（アウトプット）のみならず、地域住民の健康状態や患者の状態、地域の医療の質などの成果（アウトカム）にどのような影響（インパクト）を与えたか、また、目指すべき方向の各事項に関連づけられた施策群が全体として効果を発揮しているかという観点も踏まえ、必要に応じて医療計画の見直しを行う仕組み（PDCAサイクル等）を、政策循環の中に組み込んでいくことが必要となる。**抽出された課題を解決するために、具体的な方法を論理的に検討し、できる限り実効性のある施策を盛り込むとともに、各々の施策と解決すべき課題との連関を示すことが重要であり、**施策の検討及び評価の際にはロジックモデル等のツールの活用を検討する。**

## 疾病・事業及び在宅医療に係る医療体制構築に係る指針

### 第2 内容

#### 1 医療体制の政策循環

5 疾病・5 事業及び在宅医療の医療体制を構築するに当たっては、住民の健康状態や患者の状態といった成果（アウトカム）などを用いた評価を行うことが重要である。具体的には、施策や事業を実施したことにより生じた結果（アウトプット）が、成果（アウトカム）に対してどれだけの影響（インパクト）をもたらしたかという関連性を念頭に置きつつ、施策や事業の評価を1年ごとに行い、見直しを含めた改善を行うこと。都道府県は、この成果（アウトカム）に向けた評価及び改善の仕組み（PDCAサイクル等）を、政策循環の中に組み込んでいくことが重要である。施策の検討に当たっては、成果（アウトカム）と施策の結果（アウトプット）の関連性を明確にし、ロジックモデル等のツールの活用を積極的に検討すること。また、当該ロジックモデル等のツールを活用した評価を行い、必要に応じてその結果を施策に反映することによりPDCAサイクル等の実効性を確保すること。